だい かい せいしやうねんどくしよかんぞうぶんせんこく かいだいとしょ しょうかい
第10回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書で紹介

しょうがっこうていがくねん ぶ
《小学校低学年の部》

『アザラシのアニュー』 あずみむし 作 / 童心社

アニューが生まれてからひとり立ちし、北極の海へ向かうお話。自然のきびしさをわかりやすく学べる絵本。

『ごめんねでてこい』 ささきみお 作・絵 / 文研出版

大好きなおばあちゃんに「きれい」と言ってしまった、はなちゃん。本当は「ごめんね」と言いたいのだが・・・。

『おちびさんじゃないよ』 マヤ・マイヤーズ 文 ヘウォン・ユン 絵 / イヅリツヨク・プラス

テンは体は小さいけれど、なんだってできる。ある日、転校生のマルくんがいじめっ子にからかわれているのを見て・・・。

『どうやってできるの？チョコレート』 田村孝介 写真 / ひさかたチャイルド

身近なお菓子、チョコレート。どうやってできているのでしょうか。カカオの実物大の写真など迫力満点の写真絵本。

しょうがっこうちゅうがくねん ぶ
《小学校中学年の部》

『いつかの約束1945』 やまもと えつこ 作 平澤 朋子 絵 / いわさきしよてん

みくとゆきなが町で出会ったおばあちゃんは、自分が九歳だという。確かにこの町にも戦争があったことに気づかされる。

『じゅげむの夏』 ながみ いっぺい 作 マメイケダ 絵 / 佼成出版社

仲よしのかっちゃんは筋ジストロフィー。天神集落のおとなへの階段である川へのダイブをしたいと言いだし・・・。

『さようならプラスチック・ストロー』 ティー・ロミート 文 スユェ・チェン 絵 / 光村教育図書

ストローの発明と改良の歴史、使い捨てプラスチックが環境に与える影響など、SDGsを考えさせられる。

『聞いて聞いて！音と耳のはなし』 たかつ おさむ 文 よしと ぶん ながさき くにこ 絵 / 福音館書店

音はふるえる空気の波。人間も動物も、日々、さまざまな音を聞きとり、記憶し、くらしに役立てている。

しょうがっこうこうがくねん ぶ
《小学校高学年の部》

『ぼくはうそをついた』 にしむら すぐり 作 中島 花野 絵 / ポプラ社

戦後80年を前に、原爆の傷跡の残るヒロシマを5年生のリョウタがたどる。平和への祈りと希望を描いた物語。

『ドアのむこうの国へのパスポート』 トカ・ドラフト、リゲル・クムハト 作 / いわなみしよてん

作家の家の謎めいたドアを開けるため、子どもたちは作家からの課題に取り組む。さて、ドアのむこうにあったのは？

『図書館がくれた宝物』 ケイト・アルバス 作 榎田 理絵 訳 / 徳間書店

第二次世界大戦下、ロンドンから疎開し厳しい生活を送る3人のきょうだいにとって、村の図書館だけが救いだった。

『海よ光れ！ 3・11被災者を励ました学校新聞』 田沢 五月 文 / 国土社

東日本大震災の避難所となった大沢小学校の子どもたちが、どうやって被災者を励ましたかを描いたノンフィクション。